



芝浦だより

多角的に見る、多面的に捉える～通知表配布にあたって～

校長 瀨尾 敏恵

担任が「通知表を渡します。」と言ったときの子供たちの反応。「待ちました！」という子もいれば、「緊張する…」という子もいて、「わぁ～」という声にならない声があがり、教室はちょっとした高揚感に包まれます。

私が担任であったとき、通知表にある総合所見を書き上げるのに結構時間を要しました。日頃から、各子供の顕著な伸びやよい言動について記録を取っていたのですが、これが1学期を過ぎると結構な量になるのです。読み返してみると、全て伝えたいことばかりで、しかし文字数は限られていて、この記録の中から何を選ぶことが、どの部分を伝えることがその子供の成長の軌跡としてふさわしいのか、子供にとって励みになるのか、悩みに悩んでしまうのです。そのような経緯があり、配布当日は、子供たち一人ひとりに通知表に書ききれなかったよい面を伝えながら手渡ししたものでした。

古くからインドに伝わる仏教説話に次のような話があります。(人権上、一部内容を変更し紹介させていただきます。)

『象を見たことのない6人の法師が、象の正体を知ろうと深夜、象が飼われている小屋に向かいました。その小屋は灯りがなく真っ暗です。6人は、手探りの中、それぞれ象を触りました。鼻に触った法師は「象とは蛇のようなものだ」と言い、耳に触った法師は「象とはうちわのようなものだ」と言い、象の足に触った法師は「象とは木の幹のようなものだ」と言い、象の胴体に触った法師は「象とは壁のようなものだ」と言い、象のしっぽに触った法師は「象とはロープのようなものだ」と言い、象の牙に触った法師は「象とは槍のようなものだ」と言いました。6人は、自分が触った体の一部をもって象の正体だと信じ、最後まで自分の意見を譲らず、とうとう言い争いになってしまいました。』

6人が感じたことはそれぞれ事実です。しかし、それらは真実とは言えません。この寓話から何を学ぶかは人それぞれかと思いますが、私は、教員として子供を見取るときの教訓にしています。「物事の一部だけを知って、それが全てだと思いつくべからず」です。子供たちを一面的な視点で捉え人間性を判断してしまったり、それは子供にとって悲劇です。異なった角度から子供の姿を見ていくこと、子供の様々な側面を捉えていくことは、子供たちの秘めたる可能性や潜在能力を引き出すことにもつながると考えています。

10月31日に、前期の通知表が担任から子供たちに渡されます。私は、全ての子供たちの通知表の観点別評価を確認し、文章による評価(道徳科等)、総合所見を読みます。全ての教員があ頃の私のように、子供たち一人ひとりのよい点や伸びを伝えたい、そして、今後の学校生活への意欲を高めてほしい、という思いをもって作成しています。総合所見の中に、もしかしたら保護者の皆様が今まで気付かなかったお子さんの長所や優れた能力について記述されており、お子さんの新たな一面を知ることになるかもしれません。お子さんとともに通知表を読んでいただき、お子さんのよいところや成果をあげたことを認めていただくことで、子供たちの更なる成長のきっかけにしていただければと思います。

4年生の学習から

4年担任

4年生の総合的な学習の時間では、「みんながくらしやすい街」をテーマに学習を進めています。

1学期には、様々な人の立場にたって校内を歩き、過ごしやすさ、過ごしにくさを見付けました。2学期に入り、目の見えづらい方にお話を聞いたり、盲導犬の学習を通したりして、その方々の立場に寄り添って理解を深めることができました。子どもたちは、「自分たちと同じように生活ができるんだ。」「もっと自分たちに何かできることはないか。」等の感想をもっていました。

今後も体験的な活動を取り入れながら、テーマを自分事として捉え、課題解決し、力を伸ばしていきます。

理科の学習について

理科担当

海ホールに響く虫の声に気付き、飼育箱の中を見入る子どもたちの姿が今、見られています。「スズムシは鳴いているんじゃないんだ。羽をこすっているのか。」「オスとメスで形が違うんだ。」「怖い。気持ちが悪い。」「様々な声が聞こえます。」「苦手でも『すごい!』を見付けられるといいね。』と話しています。

理科教育では、観察、実験など体験的な活動にデジタル教材を取り入れながら、問題解決学習をしています。「自然を愛する心情」や「主体的に問題を見出し解決しようとする態度」を育むために、ゴム鉄砲もブランコも空も天候も、その他、身の回りの「すごい。不思議だ。」に気付くよう働き掛けています。

今月の目標

- 生活 礼儀正しい行動をしよう
- 保健 目を大切にしよう
- 給食 お箸と食器を正しく持って食べよう
- 清掃 隅々まで清掃しよう

10月の予定

○:学年、<>は何時間目を表します。

オリパラ後の活動について

オリンピック・パラリンピック担当
東京都の公立学校では、令和4年度から、オリンピック・パラリンピック教育で培ったネットワークや、家庭・地域との連携を生かした体験活動を「学校2020レガシー」として位置付け、主にボランティアマインドや障害者理解、豊かな国際感覚を養う取組を行っています。
本校は盲導犬キャラバンや企業による地域学習、大使館交流などを実施しています。

芝浦小読書の日

学校図書館部
夏季休業期間に、これまで4階にあった本を3階図書室前の教室に移動し、読書スペースのある第二図書室を新設しました。授業など、積極的に活用していく予定です。
また、昨年度に引き続き毎月第4土曜日を『芝浦小読書の日』としてその月に読んだ本を2冊記入する取り組みを行っています。新たな本を手にする機会を増やし、語彙力や想像力等を培っていきます。

栄養士より

栄養士
毎回約1000人分の給食を作っています。これからも季節の食材や行事食を取り入れ、給食を通して学ぶことができるように心掛けていきます。食器の置く位置や給食についてなど、ご家庭でも食について話す機会を作りたいと思います。

特別支援教室の通級及び学習支援の配置(令和5年度1学期)の申し込みについて

特別支援コーディネーター
平成28年度から、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために通級指導を行う「特別支援教室」(ステップアップルーム)を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級、あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は10月7日(金)までに、担任、特別支援コーディネーターまたは副校長にご相談ください。

1	土	都民の日	
2	日		
3	月	B時程 保護者会	
4	火	安全指導 区連合運動会	◎
5	水	B時程	
6	木	B時程 自転車教室③	○
7	金	朝学習	●
8	土		
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火	朝学習 社会科見学③A	◎
12	水	B時程 4時間授業 ※3年1組研究授業のため5時間授業	
13	木	朝学習 社会科見学③B	○
14	金	B時程 避難訓練	●
15	土	土曜授業日 C時程	
16	日		
17	月	全校朝会 委員会	
18	火	B時程 生活科見学①	◎
19	水	B時程 4時間授業 ※3年4組研究授業のため5時間授業	
20	木	朝学習	○ ●
21	金	朝学習	
22	土	芝浦小読書の日	
23	日		
24	月	朝学習 クラブ	
25	火	朝学習 生活科見学②	◎
26	水	B時程	
27	木	朝学習	○
28	金	児童集会	●
29	土		
30	日		
31	月	朝学習 前期通知表配布 水泳授業終了	

・スクールカウンセラー来校日 ◎泉森 ○上田 ●河村

児童数

9月25日時点

1年生	151人	4年生	147人
2年生	180人	5年生	180人
3年生	143人	6年生	165人
合計		966人	



住所:〒108-0023 東京都港区芝浦4-8-18

電話:03(3451)4992

FAX:03(3451)4949

E-mail shibaura-es@minato-ky.ed.ne.jp

HP http://shibaura-es.minato-ky.ed.jp/

Twitter https://twitter.com/shibauraes